

河川環境修復によるサクラマス其自然生産資源の回復

ダムのスリット化や魚道設置により資源が回復する過程を明らかにしました

背景

- ・ サクラマスは1980年代以降急激に減少し、資源の回復が望まれている魚種の1つです。
- ・ 砂防ダムのスリット化や落差工への魚道設置による自然生産の増加が期待されています。

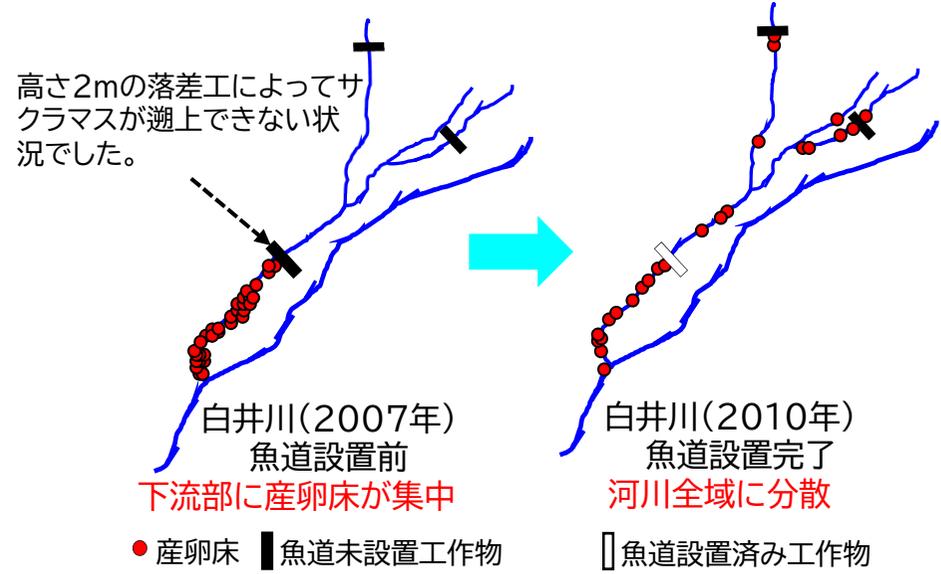
成果

魚道設置前後の産卵床分布状況等を調査し、サクラマス資源の回復過程を明らかにしました。

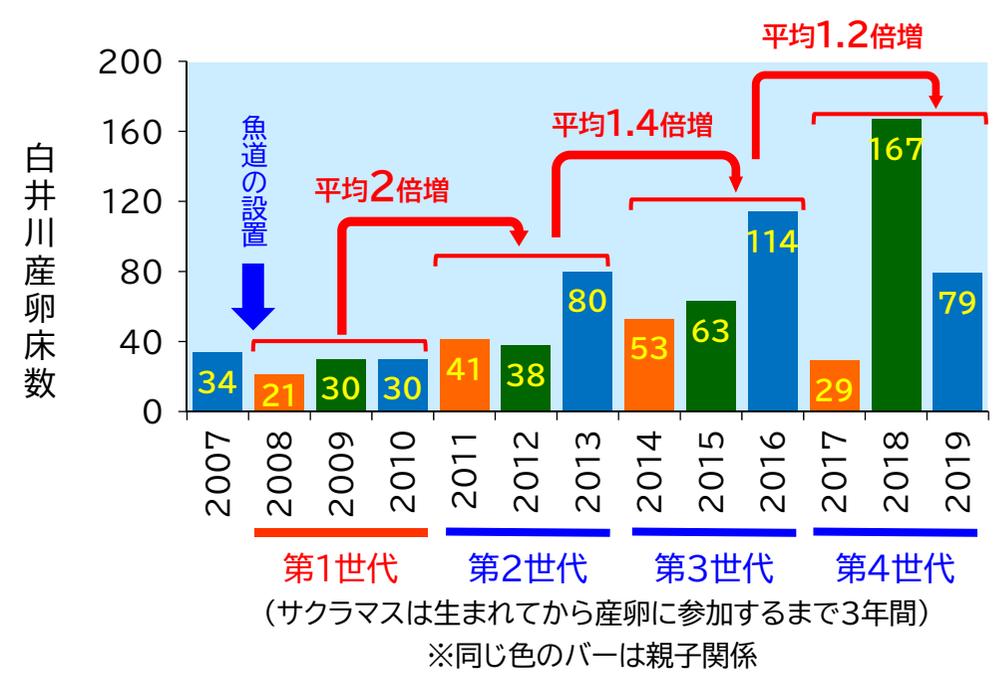


落差工に設置された魚道 (白井川、尻別川水系、後志管内) スリット化された砂防ダム(折川、後志管内)

1 魚道の設置によって、産卵床の分布域が拡大しました



2 魚道の設置後、世代を経るごとに産卵床数が増加しました



期待される効果

○環境修復事業によるサクラマス資源の回復効果が明らかになり、同事業の推進による資源増加が期待できます。